



開口神社夏詣について

日本には、大晦日の「年越しの大祓」にて一年の罪穢れを祓い清め、翌日の元旦には年の始まりとしてその年の平穏を願い神社・仏閣に詣でる「初詣」という風習があります。

その始まりから約半年、季節は本格的な夏を迎え、同じく半年間の罪穢れを祓い清める「夏越の大祓」を経て、過ぎし半年の無事に感謝し、来る半年の更なる平穏を祈るべく、一年半ばの節目として、7月1日以降も神社・仏閣に詣でます。

この新たな習慣を「夏詣」と称し、守り伝えるべき新しい我が国の風習となるよう、様々な神社・仏閣で取り組みが行われており、開口神社としても、令和元年より、その取り組みの一助となるよう、開口神社夏詣を実施してまいりました。

令和4年 開口神社夏詣は、昨年引き続き、催事につきましては自粛とさせて頂く事となりましたが、限定朱印の頒布、写詞の実施、風鈴参道の設置等を計画しております。氏子崇敬者様の祈りの一助となれば幸いです。

◆開口神社夏詣期間：令和3年6月15日～8月15日◆

【お問合せ先】

堺南荘総氏神 あぐち 開口神社(大寺さん)

〒590-0953 堺市堺区甲斐町東2-1-29 電話：072-221-0171